



### 田の浦運動会

8月16日(日)、田の浦漁港において海の運動会が開催され、参加者は赤組と青組に分かれて玉入れや海上徒競走など、さまざまな種目で競いました。海上に並べられた発砲スチロールの上を渡ってゴールを目指す海上徒競走では、足元が不安定な中、参加者は懸命にゴールを目指しました。途中で海に落ちてしまう参加者も続出したこの種目では引き分けとなった両者でしたが、最終結果は青組が優勝しました。第3回目の開催となる今回は約150名の方が参加し、交流を深めました。



### ツール・ド・東北2015

9月13日(日)、東日本大震災で被災した沿岸部を自転車で巡る「ツール・ド・東北2015」が開催されました。第3回目となる今回は、3,500名が出場し、気仙沼フォンド(211キロ)、南三陸フォンド(170キロ)、北上フォンド(100キロ)、女川・雄勝フォンド(60キロ)の4つのコースに加え、今年は気仙沼ワンウェイフォンド(95キロ)が設けられました。休憩所も昨年より1カ所多い10カ所で設けられ、ライダーたちは地元の味覚を味わい、沿道の声援に支えられながらゴールを目指しました。



### 災害時における緊急物資の輸送等に関する協定を締結しました

9月2日(水)に、町と南三陸流通グループとの間で「災害時における緊急物資の輸送等に関する協定」を締結しました。この協定では、災害の発生時において、生活救援物資など緊急物資の「輸送」や「一時保管」、更には「緊急車両への燃料の供給」について、通常の業務に優先して実施していただくことなどが定められています。また、この協定は、町が災害時相互応援協定などに基づいて他の市町村に支援を行う場合にも適用されます。  
※南三陸流通グループ(代表:株式会社三興石油 小野寺邦夫様)は、町内14の運送事業者・水産関連事業者・燃料供給事業者により構成される団体です。



### 南三陸町小森ふ化場完成!!

東日本大震災の津波により被災した南三陸町営さけ・ますふ化場ですが、9月30日(水)に新たに生まれ変わり南三陸町小森ふ化場として完成しました。こちらの施設では、シロサケの種卵の収容・ふ化・飼育を行います。建物の広さは1,625平方メートルで種卵収容能力は1,600万粒、飼育池は18面、稚魚生産能力が500万尾の施設となっております。そのほかに会議室・事務室・倉庫・自家発電室等を完備しています。シロサケは長年に渡り南三陸町の水産業を支えており、市場水揚げ量の5割以上を占める最重要魚種となっています。この施設はシロサケの再生産を安定的かつ、永続的に行うための重要な役割を担い、これからの水産業の発展に大きく期待が持てる施設です。



### 選手との交流!

8月29日(土)、南三陸プラザにおいて南三陸町誕生10周年記念イースタンリーグ公式戦楽天イーグルス・埼玉西武ライオンズ南三陸町交流会が開催されました。次の日に開催予定の試合を、楽天イーグルス南三陸町応援協議会及び町民が一体となって盛り上げていこうと団結を深めるとともに、熱戦を繰り広げる両チームに対し、南三陸にきていただいた感謝の気持ちを届けようという主旨から企画されたものです。町内のスポーツ少年団などが招待され、両選手との交流を楽しみました。